

題名：「時を盗んだ雲」 技法：アクリル・楮紙 12(h)×20(w)cm

作家のコメント

作品題名について

日々に忙殺され考えあぐねると、ふと見上げた空を流れる雲にしばし見入ってしまう。雲はいつも新鮮で、いつも変化し続けていて、留まる形を知らない。見ているはずなのに、何故かいつも見られている気がしてならない。

私もまたそうありたいと思う。いつも新鮮な気持ちで、留まらないかたちで。

私の原風景

私は四国の瀬戸内沿いにある小さな集落で育った。集落と言ったのは、市街地から少し離れた小さな山の裾野、海拔で言えば30m程度にある傾斜した場所だから。

その場所から市街地の真ただ中にある城山をほぼ水平に眺め、また山裾に広がる田園風景を俯瞰しながら育った。山と言っても関東の山とは違い、お椀を伏せたような平野に点在する山だ。

それだからという訳ではないだろうが、私の絵の中に現れてしまう視点の多くは俯瞰する位置なのが多い。眺める視線の先に行きかう人の姿と遠くのざわめきが、路地を通して眺め、聞こえてくる風景とは自ずと異なっているのは確かだと思う。だから街中に住めば遠くが見渡せない不安が募り、開けた平野にでると遠くの空のそのまた先を眺め、魅入ってしまう。

国内と海外の画廊にて個展を中心にこれまで100以上の展覧会を通して作品を発表しています。

海外での展示・美術館企画展など

2013 柳沢画廊-Prism-展 ロンドン イギリス・25×25展 シドニー オーストラリア

2011 Gallery COSMOS The Gallery にて個展 ダッカ バングラディッシュ

2005 “INPUT OUTPUT” -あるクリエイターのコレクション-展 東京純心女子大学 純心ギャラリー

2004 “カタール 芸術文化祭” 招待出品 ドーハ カタール

“日本の木版画100年展” -創作木版画から新しい版表現へ- 名古屋市美術館 愛知

1989 第6回ウッジ国際ミニチュール版画展ポーランド('93'99名誉メダル賞受賞)

1987 第3回中華民国国際版画ビエンナーレ展 台北美術館 中華民国 銀賞

収蔵 コレクション 抜粋

東京国立近代美術館・滋賀県立近代美術館・宮城県立美術館・埼玉県立近代美術館・黒部市立美術館・塩釜市民図書館・大阪府立現代美術センター・カナダカウンシル カナダ・クリーブランド州立美術館 アメリカ・クラコウ国立演劇大学 ポーランド・ウッジ国立美術館 ポーランド・パリ国立図書館 フランス・ドレスデン州立美術館 ドイツ・大英博物館 イギリス他

Homepage : muragimo.com + [facebook](https://www.facebook.com/muragimo) 筆塚稔尚